

ICカードの導入をにらんだ「モーニンググループバス」の試験運行の概要 (平成15年5月～平成15年10月)

背景

- ・香川県は全国で最も狭い県であるが、道路整備は突出して良いためマイカー利用者が大きく増加し公共交通機関離れが著しく、鉄道・バスの連携による公共交通の利便性向上を図り、マイカーから公共交通への利用転換施策が必要である。
- ・香川県の高齢化は全国平均より10年程先行しており、平成14年10月現在の老年人口構成比は22%と高齢化が進んでいる。高齢者の増加は交通弱者の増加をも意味しており、鉄道・バス共通のICカードの導入による鉄道・バス相互の乗り継ぎ等のバリアを取り除く必要がある。



[申請主体:高松琴平電気鉄道株式会社]

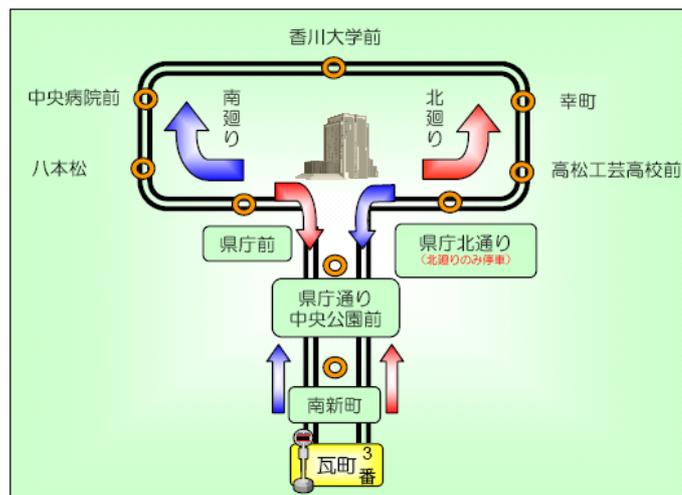
[運行主体:コトデンバス株式会社]

実験の概要

鉄道の結節駅である「ことでん瓦町駅」において、朝の通勤・通学時間帯に電車到着時間と連動したバスを、オフィス・行政機関・総合病院・学校等都市機能が密集した地域を運行させることで、公共交通の利便性向上を図り所要時間短縮による公共交通機関利用促進を図る。また、将来の鉄道・バス共通のICカード導入に向けて公共交通への利用転換効果を検証する。

- 実施概要
- ・時間 午前7時27分～午前8時41分(瓦町発)
 - ・便数 計14便(北廻り7便・南廻り7便)
 - ・間隔 平均10分(最短で5分)
 - ・運賃 100円均一

実施期間 平成15年5月6日～平成15年10月31日(約6ヶ月間)



実験の成果

「ことでん瓦町駅」から1km以上離れた停留所では、一定の利用客を得ることができた。
雨の日、高温の日には利用客の増加がみられた。



実験後の状況

実験の結果を踏まえ、平成17年2月から電車・バス共通のICカードを導入し、当初発売目標の3万枚を完売。平成17年7月現在5万枚を超える予想以上の売り上げを記録した。